

トピックス

通学路の安全対策を推進!

全国各地で通学途上の児童生徒が事故に巻き込まれる事案が発生しております。対策には様々な角度からのアプローチが必要であります、私自身、生活道路を中止とする安全施設（カーブミラー、横断歩道、ガードレール、路側線、注意看板など）の整備に注力してきた他、政策面では全市的な路肩のカラー化やゾーン30（一定のエリアをゾーンと捉え、そのゾーンを走行する際は時速を30キロに抑制させるもの）の推進を訴えてまいりました。なかでも路肩のカラー化については、学校から一定の範囲内を全市的に整備を進める先進都市の事例を紹介しつつ、千葉市においても同様の取り組みを求めてまいりました。その結果、今年度中にも「千葉市通学路のカラー化計画」が策定され、市内全112校を対象に、学校から半径500メートルの範囲にある歩道のない通学路のカラー化を推進することとなりました。今後5年間で、約60キロメートルが整備される予定です。



南町2丁目と3丁目の境界にあたる当該道路（下左写真）及び赤井町739番地先の当該道路（下右写真）においては、アスファルトの劣化が激しく、周辺住民からも振動等の苦情が寄せられておりました。地元町内会とも連携し市当局に改善を働きかけてきたところ、この度工事が完了しましたのでご報告致します。今後とも、地域の問題などご相談がありましたら、お気軽にお申し付けください。



市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

酒井伸二

<http://chibashi.com> <http://www.facebook.com/sakai.cc> e-mail:sakai@chibashi.com

〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

Tel/Fax.043-268-7120

公明党千葉市議会議員団 議会報告 No.34 発行日/平成29年1月5日

議会報告 さかい通信 2017冬号

千葉市の玄関口 あたらしい千葉駅及びエキナカが開業！

■53年ぶりに新しく

昨年11月20日、千葉市の玄関口となるJR千葉駅の新駅舎とエキナカ商業店舗（3F部分）が開業致しました。実に53年ぶりのリニューアルとなります。駅機能・コンコースが3階へ移転し東側に改札口を設置、西側改札と同じフロアでつながりました。また、行先の掲示板や発車時刻をお知らせする電光掲示板も大きく分かりやすくなった他、トイレの多機能化やバリアフリー、駅周辺各方面へ通ずる出口とのスムーズな接続なども推進されました。

今後は、本年春にエキナカ4Fがオープン、夏以降にエキナカ全面開業、明年夏以降に駅ビル全面開業となります。あたらしくなった千葉駅に是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



■「千産千消」の取り組み

千葉県は全国有数の農林水産県であり、千葉県で生産したものを千葉県で消費する取り組みを地産地消になぞらえ「千産千消」と呼んでおります。その千産千消を意識しつつ、（日本初となる）365日常設でエキナカにて生鮮三品（精肉、鮮魚、青果）を取り扱う専門店がそろうなど、ユニークな取り組みが見られます。

私自身、平成27年の第四回定例会において「本市の玄関口である千葉駅を初め、（オリンピックの）競技会場となる幕張メッセ周辺などに、県内の物産販売を行う拠点を整備するなど、アンテナ機能を強化すべき。」と訴え、「東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、本市を訪れる観光客の増加が見込まれており、駅や会場周辺に県内の物産販売を行う拠点が整備されることとは、本市の集客力の向上や消費の拡大にもつながることから、千葉県観光物産協会や関係機関への働きかけを行っていく。」との答弁を頂いておりました。今後の本市の更なる発展に寄与することを期待します。

■千葉駅周辺の活性化グランドデザインの推進を！

千葉駅のリニューアルに続き、駅東口再開発ビル（平成34年オープン予定・右図）も着工となりました。一方、この変化の中で千葉三越や千葉パルコの閉店後の動向も気にかかるところです。千葉市では、千葉駅周辺の求心力の低下を踏まえ、千葉都心全体の将来像や取り組みの方向性を明確化する必要があるとして、昨年3月に「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」を策定しました。今後は同グランドデザインで整理された各整備プログラムを着実に推進し、魅力ある都心形成に努める必要があります。



なお、このグランドデザインは、平成25年第一回定例会における酒井伸二の代表質疑（都心形成の提案）に対し、市長が策定を表明していたものです。

政策が実現!

千葉ポートアリーナが車椅子バスケットボール 国際ナショナルトレーニングセンターに決定!

昨年7月、文部科学省は千葉ポートアリーナを「パラリンピック競技(車椅子バスケットボール)ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設」に指定しました。

オリンピック競技と異なり、パラリンピック競技においては強化拠点施設が十分ではなく、平成26年4月に既存の施設を活用しナショナルトレーニングセンターに指定するとの方針が示されておりました。

昨年6月に行われたスポーツ庁による公募では、早々に意思表示をしていた本市施設が指定された形となりました。

施設指定を受けたことにより、専用トレーニング機器などが整備されるほか、日本代表合宿、強化指定選手の練習会などが行われます。なお、「ZOZOPARK HONDA FOOTBALL AREA」も5人制サッカーのナショナルトレーニングセンターに指定されました。



平成25年12月の議会質問で酒井伸二が提案

酒井伸二の質問(全文)

「政府では、2020年のパラリンピックで、過去最高のメダル獲得に向け、障害者スポーツの競技場や練習場の確保に本格的に取り組むようあります。より具体的には、政府が既存施設の所有者と契約を結びバリアフリー工事を施すほか、施設の選定は、日本パラリンピック委員会や各競技団体の意見を参考に進めることであります。新聞報道によれば、来年度はまず2カ所の施設を確保し、大会までに徐々にふやしていくと報じられております。障害者スポーツのメッカを目指すべく、こうした拠点誘致にも積極的に取り組むべきと考えます。

そこで、障害者スポーツにおけるNTC、ナショナルトレーニングセンター強化拠点の誘致について、考え方と今後の取り組みを伺います。」

市長答弁(全文)

「ナショナルトレーニングセンターの強化拠点として本市の施設が指定されること、障害者スポーツの振興において大変有意義であると考えます。

また、本市では、車いすバスケットボール及びウィルチエアラグビーの全国大会などの開催支援を積極的に行っていくこととしており、こうした取り組みを積み重ねることで、パラリンピックのナショナルトレーニングセンターの候補地選定において優位になると考えられます。

今後は、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室及び日本パラリンピック委員会の動向把握と情報収集に努めるとともに、パラリンピックのナショナルトレーニングセンターとして認定される基準等が示された際には、指定条件や候補施設などを総合的に判断し、積極的な誘致活動に取り組んでまいります。」

外国人観光客向け『おもてなしショップガイド』が好評です



Food

メニューの作成なども可能です。千葉市に住所があるお店であれば、無料で利用できます。是非ともご活用ください! 私自身、平成26年3月の議会質問において「日本政府観光局の調査では、外国人観光客が日本を訪れる際に期待するものとして、第1位に食事が挙げられており、平成25年末には、和食がユネスコの無形文化遺産に登録された。食を有力な誘致の手段と位置づけるのはごく自然の流れであり、和食店のリストアップや日本料理店との連携も一つ。また、市内各店舗における看板やメニューの外国語表記などの支援などにも取り組むべき。」と主張していたものが形となりました。

区役所窓口のワンストップサービスがはじまります

千葉市では、区役所の窓口で取り扱っている手続きを対象として、「滞在時間が最少」「来庁せずとも手続きが完了する」「必要な手続きを一括して申請できる」窓口を目指し、区役所窓口改革に取り組んでまいりました。

その結果、1月16日より各区役所の市民総合窓口課(市民課と保険年金課を統合)に住所変更や戸籍の届け出と、これらに関連する複数の手続きを一括で受け付ける窓口が開設されます。このワンストップサービスを行う窓口の開設に伴い、1月4日から案内誘導員が配置されるほか、受付番号発券機の導入や窓口レイアウトの改修などの改善も図られます。



また、1月16日より市ホームページから住所変更手続きの事前申請が可能となります。更に、1月30日からマイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービス(住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の全部・個人事項証明書、市・県民税所得証明書=最新年度分)も開始されます。

| 内 容 | 現 在 | 1月16日から |
|---------|-------------------------------|----------------------------|
| 手続き窓口 | 区役所と別棟の保健福祉センター関係課の各窓口での手続が必要 | 新たに設置する区役所内の市民総合窓口課のみで手続完了 |
| 申請書等の記入 | 申請書等ごとに住所などの必要事項の記入が必要 | 関連する申請書等の大半がサインだけで完結 |
| 手続時間 | 平均約60分 | 平均約40分 |